

かご

やま

えん

香山園

庭園&美術館



金銀蒔絵枝菊文丸鏡盒

東山御物 足利義政公愛用品(室町時代)

展示内容

1月～ 4月 日本人形

5月～ 8月 茶道具

9月～ 12月 総合展示

香山園 敷地面積13.432m²(4,070坪)

緑豊かな多摩丘陵に包まれた香山には、明治時代に建てられた「大笠館瑞香殿」と、四季折々の風情を盛り込んだ優美な日本庭園「直ヶ谷之郷」があります。

瑞香殿



瑞香…沈丁花(ちんちょうげ)

天文十年七月十九日北条氏綱公没す。第二十四代甚左工衛門盛清は翌年の命日に元木庵を建立し、庵に於いて経を唱えた後剃髪して元木庵主瑞香と号す。

瑞香の号は北条早雲の号宗瑞の一字を賜る。

法名 蓮清居士

瑞香は持仏堂又は主屋の号



館瑞香殿と瑞香殿庭園

瑞香殿は第二十四代盛清の代天文十三年建立、元禄六年第二十九代五郎太夫の代建て替え、第三十七代重周が明治三十九年に建立して現在に至る。館は書院造、寄棟千鳥唐破風玄関付。館内の天井には大正12年当時のシャンデリアが付いています。

書院造りは武家の住まいで京都にある二条城はその代表的な建造物です。

庭園は初め元禄二年に作庭しましたが、元禄五年建物焼失の後元禄九年に修復、庭内には樅や榧の大木が自生、ケヤキやエノキ等は寛永二十年土着百年の記念樹として植えられました。第三十代太兵衛盛行の代寛保三年松、榧を植え付け林を作る。

東側南面部分は古のまま保存され、その後一部改修されて、池泉回遊式庭園になる。春は花、秋はもみじと四季折々に優雅な姿を見せ、カヤやケヤキの大木が香山園の歴史の古さを物語っています。

瑞香殿主屋の変遷

- 天文十三年甲辰弥生建立(1544年)
- 元禄六年癸酉二月六日(1693年)
- 明治三十九年十二月十八日

建築面積 451m²(136坪)

建築構造 木造書院造

寄棟千鳥唐破風玄関付

建築当主 神藏宗家第37代 勇次郎重周

香山の由来

天香山命 (あまのかごやまのみこと) 一亦名高倉下

神倉龍藏宗家は高倉下に從い、筑紫より丹後国経て紀伊国熊野へ移り居住、後に武人之神として古来より祭り現在に至る。

神倉龍藏宗家之由来

宗家の沿革、天竺摩訶陀國の大乱を避け、顯祖加牟羅は其地を踏出で唐国祥府へ。加牟羅の末裔具来淀は、其地より楽浪を経て韓国辰へ。具来淀の末裔具世經は、筑紫國鈴之御前に登り、筑紫より高倉下に隨從し諸国を巡り權勢申、後丹後国を経て熊野之村に至る也。其後紀州田鍋郷、次に南部郷に移り、南部三世貴 (むか) の代に遠流、後紀ノ川の河口直川郷に登り居定也。

神倉龍藏宗家—古代熊野之豪族 道家相承

紀伊国牟田郡熊野 (自 筑紫一畿内一熊野 至) 三世紀半 具世經より…十八代

紀伊国田鍋郡南部 (自 熊野一近江一田鍋一南部一直川 至) 白雉三十二年辛巳 (西暦681年) 重信より…九代

大和国高市郡吉野郷北山 (自 直川一吉野 至) 承平三年癸巳弥生 (933年) 重家より…九代

越後国蒲原郡奥山庄金鉢山 (自 吉野一平泉一羽黒山一羽黒村 至) 文治六年庚戌弥生 (1190年) 重仁より…十四代

吉野九代重旭の子重仁奥州平泉に下り、其後羽黒山に走り、更に蒲原郡奥山庄金鉢山に到る。後に十代重成の代に羽黒村に下り居定也。

第二十四代盛清と元木山城

神藏宗家第二十三代神左工門尉重敦の嫡男盛清は大永四年 (1524) 正月元服して甚左工門盛清と号す。盛清十九歳にして独立。二百騎余の騎馬団を編成。

四天王…鈴木四郎左工門 (先陣)、森藤左工門 (右陣)、吉川小左工門 (左陣)
夏目与左工門 (後陣)、軍師…下村由左工門、陣形…雁行菱形

大永四年八月十八日、越後国春日山城主長尾信濃守為影と猿田ヶ原で合戦。大永五年六月晦日、上杉朝興の家臣三戸駿河守義宣と越州須利鉢山で合戦、敗北して出羽山中に脱出し奥州本吉郷へ落ち行く。大永五年十一月十四日、武蔵国多摩川の南三里地幡屋郷元木に来着。元木山に柵 (城) を造営して、小田原北条氏綱公へ加勢を乞い、大永六年七月二十四日武蔵国淨土野森で川越勢と合戦。盛清ついに勝利を得て、大永六年九月晦日を以て客人領主として氏綱公へ仕え、公より武蔵野の広漠たる幡屋郷を割り永三十貫文 (二十四万坪) の安堵状を賜る。その後も氏綱公の庇護を受ける。天文十年七月十九日氏綱公没す。後に盛清は隠居し天文十二年大晦日申刻、武蔵国都築郡幡屋郷元木を直ヶ屋と申 (つけ) 居を定めるもの也

能ヶ谷の由来

天文十二年、紀伊国直川（のうが）郷の直と幡屋郷の屋の二字を賜り、直ヶ屋と申（つけ）たところ、奉行誤聞して直ヶ谷となる。天正二年、五代北条氏直公の時に能ヶ谷と改める。

第二十五代盛俊	道家相承 家督相伝 弘治三丁巳に歳九月吉日
第二十六代盛治	道家相承 家督相伝 天正十八庚寅歳二月吉日 能ヶ谷村検地 慶長三年戊戌三月廿四日 大久保石見守長安様（石見検地）
第二十七代盛伸	道家相承 家督相伝 元和九癸亥歳八月七日 福井清右絵工門様知行所能ヶ谷村名主役 寛永十年四月より寛文六年十二月迄 翌丁未歳能ヶ谷村 金井村両村名主役 延宝九年六月迄
第二十八代盛寿	道家相承 家督相伝 寛文七丁未歳八月七日 福井清右工門様知行所能ヶ谷村名主役
第二十九代盛政	道家相承 家督相伝 福井清右工門様能ヶ谷村名主役 元禄五壬申歳五月より正徳五乙未歳六月迄 正徳五乙未歳七月朔日より武州能ヶ谷村百參拾五石余りの地 御料所（幕府直轄領）となる。是依宗家幕末第三十五代加一郎重孝迄御料所の名主を世襲し相勤候
第三十六代喜六重俊	道家相承 家督相伝 明治六年酉五月十八日 江戸幕府崩壊 第十五代將軍徳川慶喜 大政奉還 王政復古 明治相定者也 于時當家氏於環元 神倉氏を神藏に改申 家紋七星相定者也 宗家者是依不可從封建世 尊自然亦不可侵人尊嚴 人者凡自由平等伝々

明治元年九月八日

香山文庫収蔵品



小直衣雛
(江戸時代)



古萩茶碗
(江戸時代初期)



金蒔絵檜垣朝顔硯箱
(江戸時代初期)



這子
(江戸時代)



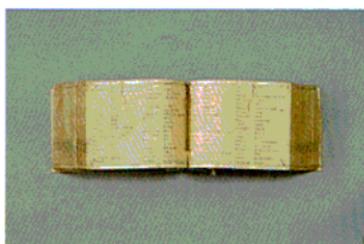
信楽焼水指
(桃山時代)



鎌倉彫香合
(室町時代)



古今和歌集仮名序 (伝寂蓮法師筆)
重要美術品
(平安時代)



英和辞典 (枕辞書)
(江戸時代)

香山古墳出土品



勾 玉
大永五年出土
(5~6世紀)



須恵器長首瓶
大永五年出土
(5~6世紀)

●案内図●



開館日 ■木・金・土・日・祝日
臨時休館 ■8月中旬 年末年始
開館時間 ■午前10時～午後5時
最終入館午後4時
入館料 ■1,000円

東京都町田市能ヶ谷2-17-1
TEL042(735)5702

小田急線鶴川駅より徒歩5分
駐車場 有

URL www.h7.dion.ne.jp/~kagoyama/